

累計発注量291隻、昨年から2倍

■次世代燃料コンテナ船、郵船調査

LNGやアンモニア、メタノールといった次世代燃料対応のコンテナ船の発注が進んでいる。日本郵船調査グループがまとめた「世界のコンテナ輸送と就航状況 2022年版」によると、今年9月末時点で次世代燃料対応コンテナ船の累計発注量は計291隻・330万5000TEUとなった。既に就航済みの船が37隻・49万5000TEU、発注残が254隻・281万TEUとなっている。前年同月末時点から隻数で約2.2倍、船腹量で約1.9倍となり、大幅に増加している状況だ。

コンテナ船業界でも温室効果ガス（GHG）削減に向けた取り組みが加速している。荷主がコンテナ船社を選択する際の条件に、環境対応の取り組みを評価基準に組み入れようとしており、コンテナ船社にとってGHG削

減は待ったなしの課題となっている。有効なソリューションとして、低炭素・ゼロ炭素代替燃料の活用が挙げられており、次世代燃料に対応したコンテナ船の発注が進んでいる。

郵船の調査によると、2021年8月

末以降の新規発注船436隻・286万7000TEUのうち、次世代燃料対応船は171隻・174万TEUとなり、隻数で39.2%、船腹量で60.7%を占めている。これまでは、欧州船社が積極的に次世代燃料コンテナ船を発注してきたが、今年に入ってから、オーシャン・ネットワーク・エクスプレス（ONE）がアンモニア・メタノール燃料レディの1万3700TEU型10隻を発注したほか、コスコも10月末にメタノール二元燃料対応の2万4000TEU型12隻を発注するなど、アジア船社による整備も加速しつつある。

次世代燃料対応コンテナ船の発注状況（2022年9月末時点、日本郵船調査）

船社	対応燃料	発注隻数	船型 (TEU)	隻数	発注年	竣工	竣工済隻数	造船所	その他
CMA-CGM	LNG	76	2万3112	9	2017年12月	2020～2021年	9	滬東中華・江南造船	
			1万4812	3	2018年6月	2020～2022年	3	現代三湖重工	用船 (EPS)
			1万5254	5	2019年9月	2022年	5	江南造船	
			1380	6	2015年11月	2019～2021年	6	中船黄浦文冲船舶	
			1万5254	6	2021年4月	2023～2024年	-	江南造船	
			1万3000	6	2021年4月	2023～2024年	-	滬東中華	
			7600	6	2021年9月	2023～2024年	-	サムスン重工	
			2000	10	2021年11月	2023～2024年	-	現代重工	
	LNG二元燃料		1万5264	8	2019年3月	2020～2022年	7	現代重工	用船 (EPS)
			2万3000	4	2022年6月	2025年	-	滬東中華造船	
	バイオガス		7900	3	2022年6月	2025年	-	現代三湖重工	
			7300	4	2022年4月	2024年	-	サムスン重工	
メタノール 二元燃料対応	1万5000	6	2022年6月	2025年	-	大連船舶重工工業			
	LNG	72	1万5264	10	2021年1月	2024年	-	現代重工	用船 (EPS)
1万6000			6	2022年1月	2024～2025年	-	現代三湖重工		
1万6000			2	2021年3月	2022～2023年	-	現代三湖重工	用船 (CIDO SHIPPING)	
1万6000			2	2021年10月	2022～2023年	-	現代三湖重工	用船 (CIDO SHIPPING)	
1万5000			4	2021年10月	2024年	-	大宇造船海洋	用船 (ゾディアック)	
1万5600			6	2022年2月	2025～2026年	-	大宇造船海洋	用船 (ゾディアック)	
8000			6	2022年4月	2024～2025年	-	現代重工業		
7000			10	2022年4月	2025年	-	新世紀造船所		
LNG・アンモニア 燃料レディ			1万6000	10	2022年1月	2024～2025年	-	大連船舶重工 CSSC	
LNG二元燃料			1万4428	2	2020年3月	2022年	2	揚子江船業	
	2万3000		4	2022年6月	2025年	-	今治造船	洞雲汽船 (2隻) 正栄汽船 (1隻) 日鮮海運 (1隻)	
1万1360	10		2022年6月	2026年	-	江蘇新時代造船			
	LNG	30	1万5000	5	2021年2月	2023～2024年	-	サムスン重工	用船 (シースパン)
7000			10	2021年7月	2023～2024年	-	江蘇揚子江船業	用船 (シースパン)	
7000			5	2021年9月	2024年	-	江蘇揚子江船業	用船 (シースパン)	
7928			3	2022年1月	2024年	-	現代三湖重工	用船 (EPS)	
アンモニア 燃料レディ			1万5000	5	2021年3月	2023年	-	サムスン重工	用船 (シースパン)
メタノール 燃料レディ			5500	2	2022年3月	2024年	-	HJSC Yeongdo	用船 (MPC)
HMM	LNG燃料レディ	14	1万3600	12	2022年6月	2024年	現代重工 (6隻) 大宇造船海洋 (6隻)		
	LNG二元燃料		7700	2	2022年6月	2024年	-	HJ重工業	用船 (ナビオス)
マースク	メタノール	13	2100	1	2021年7月	2023年	-	現代三湖重工	
			1万6000	8	2021年8月	2024年	-	現代重工	
			1万6000	4	2022年1月	2025年	-	現代重工	
ハバックロイド	LNG	14	2万3500	6	2020年12月	2023年	-	大宇造船海洋	
			2万3500	6	2021年6月	2023年	-	大宇造船海洋	
	LNG燃料レディ		1万4000	2	2019年	2022年	1	現代三湖重工	
ONE	アンモニア・ メタノール燃料レディ	10	1万3700	10	2022年5月	2025年	-	日本シッパード (5隻) 現代重工 (5隻)	
PIL	LNG	8	1万4000	4	2022年2月	2024～2025年	-	江南造船	
	LNG・アンモニア 燃料レディ		8200	4	2022年7月	2025年	-	揚子江船業	
長錦商船	LNG燃料レディ	6	1809	6	2021年7月	2022年		現代三湖重工	
Xプレスフィーダーズ	メタノール二元燃料	4	1170	4	2022年8月	2023～2024年	-	新栄造船 揚州太平洋造船	用船 (Alfa Local)
クローリー・マリタイム	LNG二元燃料	4	1400	4	2022年9月	2025年	-	現代三湖重工	用船 (ESP)
マトソン	LNG	1	3620	1	2022年1月	2023～2024年	-	Philly Shipyard	
ユニフィーダー	LNG	1	1012	1	-	-	1	江蘇省無錫船廠	
アジアティック・ロイド	アンモニア 燃料レディ	6	7100	2	2021年5月	2023年	-	大連船舶重工	用船者未定
			7100	2	2021年8月	2023年	-	大連船舶重工	用船者未定
			7100	2	2022年4月	2024年	-	上海江南長興造船	用船者未定
ユーロシーズ	LNG	5	1800	3	2020年3月	2024年	-	現代三湖重工	用船者未定
			2800	2	2020年5月	2024年	-	現代三湖重工	用船者未定
CIDO SHIPPING	LNG	4	7600	4	2022年4月	2024年	-	現代三湖重工	用船者未定
MPCキャピタル	メタノール 燃料レディ	4	5500	4	2022年1月	2023～2024年	-	HJ重工	用船者未定
ダナオス・ SHIPPING	メタノール 燃料レディ	4	7200	4	2022年2月	2024年	-	Daehan Shipbuilding	用船者未定
セルシウス	メタノール	4	3000	2	2022年3月	2023年	-	Jinglu Shipyard	用船者未定
			3000	2	2022年4月	2023年	-	Jinglu Shipyard	用船者未定
キャピタル・マリタイム& トレーディング	LNG	3	1809	3	2022年1月	2023年	-	現代三湖重工	用船者未定
ハートマン	LNG	3	3500	3	2021年9月	2024年	-	泰州三福船舶	用船者未定
MPCコンテナ	メタノール	2	1300	2	2022年7月	2025年	-	泰州三福船舶	用船者未定
TOTEマリタイム	LNG	2	3100	2	-	2015年	2	-	アラスカ、中米航路
グレートホース・ SHIPPING	LNG二元燃料	1	1480	1	-	2022年	1	揚子江船業	用船者未定
発注合計			291隻 (330万4883TEU)			竣工合計		37隻 (49万5390TEU)	

注：LNG＝LNG 燃料船、メタノール＝メタノール燃料船

(出所：Clarkson Researches、S&P Global、MDS、各種報道より日本郵船にて作成)